

**コンゴ(民)月例報告**  
**政治関連**  
**2016年6月**

**主な出来事**

- 6月30日の独立56周年記念日を前に、29日夜、カビラ大統領が恒例の国民向けメッセージを発出。外国による内政干渉の排除を強調、また、経済と金融の安定に最大限の努力を払っている等述べた。
- 8-9日、ブリュッセル郊外のホテルで、チセケディ UDPS 党首の提案した野党会議が開催され、野党、海外在留コンゴ(民)人、市民社会等の代表ら100名近くが参加。チセケディ党首はしっかりと足取りで現れ、はっきりとした口調で正式オープニングスピーチを行った。同党首が公の場に姿を現すのは久しぶり。
- チセケディ UDPS 党首が独立記念日のメッセージを発出。近いうちにキンシャサに戻り、7月31日にキンシャサで大規模集会を行う旨発表した。
- ヨーロッパで療養中のカトゥンビ前カタンガ州知事が、独立記念日に際し、出国以来初となるメッセージを発出。大統領候補としての戦い継続を宣言した。
- 15日、DDR プロセスのためオー＝ロマミ州カミナ基地に収容されている元武装勢力兵士が、基地での生活環境の悪さから、地元への帰還を求めて抗議の行進を行い、FARDC がこれに対し、実弾射撃を行った。その後18日から、同基地では、元武装勢力兵士の地元帰還作戦が開始され、ひとりあたり100ドルを支給された54名の元兵士が故郷に戻った。残る対象者は2300名。
- 国内携帯電話各社は、5月末から6月頭にかけて、インターネット接続の大幅な料金改定を行った。例として Airtel 社は、100ドル(30日間)のコースが、50GB から5GB に変更。各社は、今回の値上げは政府の指示によるものと説明しているが、政府はこれを否定。その後、6月末時点において、各社は、インターネット接続料金を再改定し、値上げ前の水準近くに戻した。
- 23日、米国は、カニヤマ・キンシャサ州警察長官に対する経済制裁を発動した。これにより、同長官が米国内に有している資産は全て凍結され、また米国人による同長官との経済取引は禁止される。

**1. 内政**

**(1) ルブンバシで州知事会議が開催**

・13日、ルブンバシ市で、カビラ大統領出席のもと、州分割後初となる第4回州知事会議が開催され、(11州から)26州への州分割後の現状報告、独立国家選挙委員会(CENI)による進捗報告が行われた。

**(2) 6月30日の独立56周年記念日をめぐる動き**

**ア カビラ大統領のメッセージ**

・29日夜にカビラ大統領が恒例の国民向けのメッセージを発出、外国による内政干渉の排除を強調した。また、資源価格の下落による経済状況悪化に対し、28の経済対策と2016年予算の修正により、経済と金融の安定に最大限の努力を払っている等述べた。

**イ カトゥンビ前カタンガ州知事のメッセージ**

・29日夜に発出されたカビラ大統領のメッセージを受け、ヨーロッパで療養中のカトゥンビ前カタン

ガ州知事も国民向けメッセージを発信、大統領候補としての戦い継続を宣言した。

#### ウ オバマ米大統領のメッセージ

・28日、オバマ米大統領はカビラ大統領に祝辞を送り、コンゴ(民)における「初めての平和的で民主的な権力の移行」を支持すると述べ、また、「貴国は、戦争の災禍を脱し、安定と繁栄の増進を達成している」と強調した。

#### エ チセケディ UDPS 党首のメッセージ

・チセケディ UDPS 党首が、国民向けにメッセージを発信し、その中で、同党首は近いうちにキンシャサに戻り、7月31日にキンシャサで大規模集会を行う旨発表した。

### (3) 野党の動向

#### ア チセケディ UDPS 党首の呼びかけによる野党会議がベルギーで開催、チセケディ党首が姿を現す

・8日、ブリュッセル郊外 Genval のホテルで、チセケディ UDPS 党首の提案した会議が、8-9日の二日間の予定で開催され、野党、海外在留コンゴ(民)人、市民社会等の代表ら100名近くが参加した。同日夕方、チセケディ党首は会場のホテルにしっかりと足取りで現れ、会場を回ってすべての参加者に挨拶をした。また、語りぶりはゆっくりであるものの、はっきりした口調で会議の正式オープニングスピーチを約10分間にわたって行い、カビラ大統領を追放するために野党が統一すべきと述べた。同党首が公の場に姿を現すのは久しぶり。

・9日深夜、二日間の野党会議が終了、チセケディ党首が閉会を宣言した。参加した野党代表は、新たなプラットフォーム「団結(Rassemblement)」の発足と、「コンゴ(民)変容のための政治と社会活力による誓約書(Acte d'engagements des forces politiques et sociales acquises au changement en Republique Democratique du Congo)」と題する結論文書を発表、新憲法を作成するための国民投票の計画、カビラ大統領の招集による政治対話、政党の二重化に反対し、今年12月19日以前の大統領選挙実施、UN-EU-AU-OIF の代表パネルが支援する国際的調停者の調整のもとでの包括的政治対話の実施等を求めた。

・10日、大統領多数派(MP)は野党の結論文書に関し、組織的クーデタであると非難した。

・レンデルス・ベルギー副首相兼外務大臣は、野党が共通の立場に達するための今回の会議を歓迎した。

### (4) 選挙・政治対話の動向

#### ア コジョ政治対話調停者がブリュッセルで野党と会談

・17日、コジョ政治対話調停者はブリュッセルで、野党プラットフォーム「団結(Rassemblement)」が設立した賢人委員会の委員長と会談を行った。

### (5) 独立国家選挙委員会(GENI)の動向

#### ア 選挙人登録カード改正に関する納入業者を選定

・3日、GENI は、選挙人登録カード改正に使用される登録キット、選挙人カード、発電機等の納入業者(Gemalt 社、Ren Form 社、Tiger-Standard-Panorama グループ)を選定したと発表した。

## 3. 東部及び大湖地域情勢

### (1) バ・ズエレ州で神の抵抗軍(LRA)と推測される集団が村を襲い100名以上を誘拐

・4日、バ・ズエレ州で神の抵抗軍(LRA)と推測される集団が二つの村を襲って略奪を行い、略奪品等を運搬させるために、約100名の住民を誘拐した(8日付 AFP)。

### (2) 北キブ州でナンデ族とフツ族による民族間紛争が発生、6名が死亡、3名が負傷

・13日、北キブ州ワリカレ地区とルベロ地区の境にあるブレウサ村(ゴマ市の北約140キロ)で、ナンデ族とフツ族による民族間紛争が発生、6名が死亡、3名が負傷した。村長によると、ナンデ族のひとりが誘拐され、フツ族の犯行を疑ったナンデ族に支援された村民が、フツ族を襲ったもの。

### (3)北キブ州ベニ地区の情勢

・13日、北キブ州ベニ地区の Erengeti 南部で、FARDC と ADF の戦闘が発生、FARDC 兵士1名、ADF 兵士6名が死亡した。  
・13日、ADF ナンバー2のルクワゴ(Hood Lukwago)が、FARDC と MONUSCO の合同作戦「ウサラマ(「安全」の意)」の最中に死亡した。

### (4)オー＝ロマミ州カミナ軍事基地で DDR プロセス中の元武装勢力兵士と FARDC が衝突。その後、兵士の帰還作戦が開始される

・15日、DDR プロセスにおいてオー＝ロマミ州カミナ基地に收容されている元武装勢力兵士が、基地での生活環境の悪さから、地元への帰還を求めて行進を行った。が、同行進は当局の許可を得ていなかったことから、FARDC が元武装勢力兵士に対し、実弾射撃を行った。  
・18日、カミナ基地の元武装勢力兵士の地元帰還作戦が開始され、ひとりあたり100ドルを支給された54名の元兵士が故郷に戻った。残る対象者は2300名。

## 4. その他

### (1)インターネット料金の大幅値上げ

・コンゴ(民)国内の携帯電話各社は、5月末から6月頭にかけて、インターネット接続の大幅な料金改定を行った。例として Airtel 社は、100ドル(30日間)のコースが、50GB から5GB に変更された。携帯電話各社は、今回の値上げは政府の指示によるものと説明しているが、政府はこれを否定。  
・15日、コンゴ・プレス全国組合(UNPC)のチルンデ代表は、今回の値上げに抗議するため、6月20日(月)以降、毎週月曜日は、全国で新聞を休刊、テレビ、ラジオは放映休止とすることを宣言、また、国民に対しては、同じく毎週月曜日には携帯電話のクレジットを購入しないよう呼びかけた。  
・6月末時点において、携帯電話各社は、インターネット接続料金を再改定し、値上げ前の水準近くに戻した。

### (2)AU-UN-EU-OIF がコンゴ(民)情勢に関する共同コミュニケを発表

・6日、AU-UN-EU-OIF は、コンゴ(民)の大統領選挙を取り巻く情勢と、コジョ政治対話調停者への支援等に関する共同コミュニケを発表した。

### (3)EUSEC がコンゴ(民)での活動を終了

・EUによるコンゴ(民)軍事部門改革のため、2005年から当地で活動した EUSEC は、今月末をもって、11年に及ぶミッションを閉鎖した。

### (4)モイズ・カトゥンビ前カタンガ州知事の関係者ダリル・ルイス氏(米人)の国外退去

・8日、ダリル・ルイス氏(注:カトゥンビ前カタンガ州知事の米国籍の関係者で、4月24日に逮捕され、カトゥンビ氏の外人傭兵雇用疑惑に発展した)の身柄は、米大使館を通じ米国当局に移された。同氏は8日夜に国外退去となった。

### (5)ルブンバシ市にドイツの名誉領事館が設置

・オー＝カタンガ州ルブンバシ市に、新たにドイツの名誉領事館が設置された。名誉領事に就任し

たのは Olivier Meisenberg 氏(46歳)。

**(6)国際刑事裁判所がベンバ被告に禁固18年の判決**

・21日、国際刑事裁判所(英:ICC/仏:CPI)は、元副大統領のベンバ被告人に禁固18年の刑を言渡した。

**(7)カトウンビ前カタンガ州知事が不動産にかかる係争で懲役3年の判決を受ける**

・22日、ルブンバシ市のカマロンド簡易裁判所(Tribunal de Paix)は、カトウンビ前カタンガ州知事と在留ギリシャ人のアレクサンドロス氏との間の不動産に係る係争に関し、カトウンビ氏に対し懲役3年と即時逮捕並びに罰金1万ドルの判決を下した(22日付 AFP)。

**(8)米国がカニャマ・キンシャサ警察長官に経済制裁を発動**

・23日、米国財務省海外資産管理室(OFAC)は、カニャマ・キンシャサ州警察長官に対する経済制裁を発動した。OFAC は理由として、コンゴ(民)の女性・子供及び民間人への暴力、誘拐及び強制移動に関して、直接的ないし間接的な責任、共謀ないし関与をあげ、同制裁をもって、同長官が米国内に有している資産は全て凍結され、また米国人による同長官との経済的取引は禁止される。

**(9)安保理がコンゴ(民)に対する制裁措置を更新**

・23日、安保理は、コンゴ(民)領内で活動する全ての非政府団体及び個人に対する武器禁輸措置を2017年7月1日まで更新することを含む、コンゴ(民)制裁措置の更新等を内容とする決議第2293号(2016年)を全会一致で採択した。

**(10)マルマル前 CENI 委員長が死去**

・30日、米国で療養中だった前独立国家選挙委員会(CENI)委員長のマルマル神父は、ダラスで死去した。同神父は、6月1日に在米コンゴ(民)大使がいったんその死亡を発表したものの、その後、コンゴ(民)政府により否定されていた経緯がある。